



「わ」には、<sup>へいわ</sup>平和、<sup>ひと</sup>人の<sup>わ</sup>和の「和」と<sup>ひと</sup>人の<sup>わ</sup>輪、<sup>ちいき</sup>地域の<sup>わ</sup>輪の「輪」が込められています。

CONTENTS

ねんど じぎょうけいかく すたーと  
NIMIC2017年度の事業計画がスタート

こんねんど かいいんこうりゅうかい かいさい  
今年度は会員交流会も開催

こ にもんごきょうしつどうそうかい ひら  
子ども日本語教室同窓会を開きます

せかい ともだち ぶろじえくと はじ  
「世界ともだちプロジェクト」が始まりました

い べ ん と ほうこく  
イベント報告

たげんご たの  
・多言語で楽しく！

たげんご かい きょうりょく  
・多言語おはなし会に協力しました

けいじばん  
NIMIC掲示板

かいいんぼしゅうちゅう  
・会員募集中

まどち つうやくぼらんていあ ま  
・窓口で通訳ボランティアがお待ちしています！

たぶんかきょうせいせんたー あくせす  
・多文化共生センターへのアクセス



多言語で楽しく！



世界ともだちプロジェクト

ねんど じぎょうけいかく すたーと  
**NIMIC 2017年度の事業計画がスタート**

今年も5月14日にNIMICの通常総会がイングリル3階会議室で開催され、前年度の報告とともに2017年度の事業計画および予算が原案どおり承認され、2017年度の事業がスタートしました。

今年度も「国際化理解のために、外国人支援のために、多文化共生に向けての活動活性化のために」の基本方針のもと、事業が計画されましたが、「世界ともだちプロジェクト」や「子ども日本語教室10周年イベント」「多文化サロン」のような新しい事業も計画されています。2017年度の主な事業は以下のとおりです。

**【NIMIC 2017年度の主な事業】** ( =自主企画事業、 =受託事業)

1. 国際化理解のための事業

- 留学生ホームビジット 6月18日
- 在住外国人の日本語スピーチコンテスト 10月15日
- 子ども対象多言語で遊ぶプロジェクト 2018年3月10日
- 世界ともだちプロジェクト(5月9日~2018年2月) \*詳しくは4ページをご覧ください。
- 多文化体験with Kids 11月23日(予定)
- 多文化サロン(年数回)

2. 外国人支援のための事業

- 子ども日本語教室(小学3・中学1教室) 子ども日本語教室10周年イベント(8月20日)
- ホームページの多言語化
- 多文化共生センターの運営
- 「くらしの情報」多言語版、
- 通訳ボランティア派遣、多言語翻訳

3. 多文化共生へ向けての活動活性化のための事業

- 日本語ボランティア向け自主講座など
- 日本語ボランティア対象フォローアップ講座



総会の様子



会員交流会から



## 今年度は「会員交流会」も開催

今年の総会終了後、出席の皆さんによる会員交流会が開催されました。これは特に入会後間もない会員の方々が活動に具体的に参加、活動されるために情報交換の場として設けられたものです。事業例として「留学生ホームビジット」「日本語スピーチコンテスト」「多文化サロン」の活動が紹介され、その後「週末なら活動できるが……」「好きな写真撮影を活かすには……?」「土日中心の活動で新しいことを」などの活発な意見交換をすることが出来ました。この交流会での意見をもとに、新たに「土日活動プロジェクト」による事業計画も動き始めます。



NIMIC子ども日本語教室は、今年、設立から11回目の夏を迎えます。毎年、小学部・中学部に新たな子どもたちがやってきました。出身国も、中国・フィリピン・マレーシア・エジプト・ネパール・ブラジル・スリランカ・ギニアなど、いろいろです。

教室に初めてお母さんやお父さんと一緒に来たときには、ちょっと自信なさそうな、心細そうな顔をして、「いい」「だめ」という日本語から学び始めた子どもたち。どんどん日本語が上手になり、いつの間にかスタッフよりも背が高くなり、自分の夢を日本語で話してくれるようになったり。反抗期を迎え、乱暴な言葉遣いを覚えて心配になった子もいました。突然帰国した子どもたちもいます。東日本大震災のときは、特に多かったです。一方で、中学一年生で子ども日本語教室に来た子が、大学を卒業して日本で就職したそうです。長い年月が流れたのだと感じます。

そこで子ども日本語教室10周年記念イベントとして、8月20日(日)に、初めての同窓会を開きます。子ども日本語教室に通っていた子どもたち、新旧スタッフの皆さんと、軽食を囲んでお話したいと考えています。

以前スタッフをされていた会員の方には、くわしい時間や場所を後日ご連絡いたします。また、子ども教室に通っていたお子さんや、やめられたスタッフの方の連絡先をご存知でしたら、教えていただけるとありがたいです。当日参加できない方もメッセージをお寄せいただければ、できる限り紹介いたします。また、会場で当時の写真などを上映予定ですので、データをお持ちの方は、ぜひ事務局までご連絡ください。楽しい同窓会となりますように。







# 「世界ともだちプロジェクト」が始まりました

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック(以下オリパラ)の関連教育として、市内の公立小中学校で「世界ともだちプロジェクト(以下、ともだちPJ)」が展開されます。これは、東京都教育委員会からの指示で、5大陸から1カ国ずつグループ化されたオリンピック参加の国々を各学校が選択し、調べ学習や外国人交流を継続して行っていくもので、オリパラ終了後も多様性への理解、国際交流等を教育活動として発展させていくことが目指されています。

NIMICは多文化共生事業を実施してきたノウハウと外国人に人脈のある団体として、2016年2月に教育委員会(指導課)からその事業への協力を求められ、5月に実行委員会を立ち上げ、プログラム開発を行ってきました。その結果、2017年度は市の委託を受けて、市内15の小中学校で、20日間に渡りともだちPJ事業を実施することになりました。

2017年度に実施する教室訪問型の交流事業は、学びをつくるファシリテーターと、外国出身の外国人講師がペアで活動します。外国人講師は国の代表として典型的な国の文化を紹介するのではなく、その国の文化を背景に持つ個人として、母国での生活や来日後の生活について語り、子どもたちが共通点と相違点、およびその背景を理解し感じ考えることを目的にしています。手法は開発教育で使われるフォトランゲージを基に、NIMICがプログラム化しました。

NIMICでは、子どもたちの多文化に対する意識を高め感性を磨く機会であり、学校現場の意識変容が、地域の多文化共生につながることをめざし、できるだけ協力をしていきたいと考えています。また、学校でのNIMICの知名度が上がることで、外国につながる子どもたちの支援の充実につながることも期待しています。



5月9日(火)は本町小学校(中国)、13日(土・学校公開日)は柳沢小学校(コートジボワール)で実践が始まりました。どちらの学校の生徒たちも活発に意見を発表し、講師に様々な質問を投げかけ、活動を楽しんでいました。学校ごとに対象となる国が違い、講師とテーマも違うので、コーディネーターを中心に丁寧に打合せをし事業を実施しています。

# 多言語で楽しく！

幼稚園の年中～小学校2年生対象の人気企画「英語で楽しく！」

今年3月11日には「多言語で楽しく！」と名前を変えて、英語が中国語で楽しい時間を！というイベントになりました。

しかし「多言語で」という言葉がいつもよりも難しく感じられてしまったのか、参加希望者は例年よりも少なめ。もともと小グループ・少人数で行うので内容が濃いイベントですが、スタッフと子どもがほぼマンツーマンとなった中国語のグループは、特に濃密な時間になったようです。日常的にどこかで耳にする英語に比べ、初めて聞く中国語の響きに最初はびっくり顔だった子も、最後には上手に中国語でご挨拶でき、嬉しそうでした。

子どもたちが、色や動物の名前や数のよみ方などを習い、習った言葉を活かしてのピングゲームに大興奮している間、保護者の方には、別室で、NIMICの活動や、子ども日本語教室の様子をお伝えするプログラムに参加していただきました。

最後は、保護者の方もスタッフも、全員で輪になってダンス！

終了証をもらった子どもたちは、キラッキラの笑顔で帰っていきました。



## 多言語おはなし会に協力しました

3月24日（金）に、中央図書館で「英語・中国語・韓国語できく いろんなことばでたのしむ おはなし会」が開かれました。これは、中央図書館から依頼があり、「多文化体験with kids」や「多言語で楽しく！」で講師をしたみんなが協力したイベントです。

当日は、抱っこ赤ちゃんから幼稚園生くらいの子とその保護者が集まり、中央図書館の読み聞かせコーナーが満員になりました。三つの言葉で挨拶を習ったり、大好きな本が違う言語で読まれた時の響きの違いに驚いたり、子どもたちも大人も満足そうでした。

NIMICが「多文化共生」を掲げて10年たち、このように企画主がNIMICではないイベントへの講師依頼などが増えて来ました。団体として街の人々に信頼され、また、多文化共生への理解が広がってきたのではないのでしょうか。





# NIMICの会員になりませんか

## 会員になると・・・

NIMICの主催講座やイベントに会員価格で参加できます。  
NIMIC主催イベントなどを実行委員として一緒に作っていくことができます。  
広報誌「多文化のわ」の他に、月刊メールマガジンをお送り

## 年会費

個人・団体：2000円（学生は1000円）  
家族会員制度もあります。入会金はありません。  
入会お申し込みは、ホームページ上で手続きができます。  
または、事務局info@nimic.jpにご連絡いただければ、ご案内



窓口で通訳ボランティアがお待ちしています！

インギビル1階にある「多文化共生センター」は、外国人が困ったとき、相談できる場所です。  
「日本語が上手ではないから相談できない」と思う人もいるかもしれませんが、でも大丈夫です。担当者  
の他に通訳ボランティアもいて、英語でも相談できます。スペイン語・中国語・韓国語の通訳がいる時間  
もあります（時間や曜日は、ホームページで確認してください）。  
今までにいろいろな相談がありました。日本語教室の場所や時間を教えることが多いです。西東京市  
は、月～土曜日まで、市内のどこかでボランティア日本語教室があります。子どものための教室や、小  
さな子どものいるお母さんのための教室もあります。  
子どもの学校のことや、ゴミの捨て方、地震があったらどうすればいいかなどなど「誰かに聞きたい  
けれど、誰に聞けばいいんだろう？」というときに、来てください。  
小さな悩みも、大きな悩みも、相談できます。  
「そういうことなら、ここで聞くとくわしく教えてください」と、くわしい人のいる場所につないで  
もらえることもあります。いろいろな情報の書かれたチラシや、本もあります。  
近くまで来たから挨拶だけ……というときも、どうぞ。

\* 窓口通訳の担当時間表 [http://www.nimic.jp/index\\_multilingual.html](http://www.nimic.jp/index_multilingual.html)

\* 多文化共生センターの場所や開いている時間は、このページの下地図で確認してください。

にしとうきょうしたぶんかきょうせいせんたー  
**西東京市多文化共生センター**

〒188-0012

東京都西東京市南町5-6-18  
インギビル1F

【窓口時間】

月曜日～金曜日 10:00～16:00  
(12:00～13:00はお昼休み)

【電話/FAX】042-461-0381

【E-mail】info@nimic.jp

URL: <http://www.nimic.jp/>

\* 西武新宿線田無駅南口徒歩2分  
JA並び



広報誌「多文化のわ」Vol.19

2017年7月1日発行

編集・発行

NPO法人西東京市多文化共生センター

〒188-0012 西東京市南町5-6-18

市民協働推進センター内 mailboxNo2

## \*\*\* 編集後記 \*\*\*

毎号の企画・取材・編集・印刷と会員  
による手づくりの本紙。今号はパソコン  
の不調などで発行が遅れ、申し訳ありま  
せんでした。新年度は「世界ともだちプロ  
ジェクト」などの新しい企画もスタート  
しました。(MT)  
・私のパソコンからメールが送れなくな  
り。編集YNさんのパソコンは修理へ。  
パソコンがご機嫌斜めになると、発行が  
危ぶまれると思い知りました。(YT)